

## 平成11年度の「宇宙開発計画」について

平成11年3月10日  
宇宙開発委員会事務局

### 1. 「宇宙開発計画」とは

- ・「宇宙開発計画」は、当面の打上げ目標時期等を明らかにしつつ、各年度以降に実施すべき政府の宇宙開発活動を位置付けるもの。
- ・同計画は毎年、予算の国会通過時期に合わせ宇宙開発委員会が決定。
- ・また、「宇宙開発計画」は、毎年、宇宙開発事業団法第24条に基づき、宇宙開発委員会の議決を経て内閣総理大臣が定める「宇宙開発に関する基本計画」ともなる。
- ・これらの計画は、それぞれプレス発表、官報告示を行い、広く国民に公表する。

### 2. 平成11年度の「宇宙開発計画」の概要

- ・平成11年度の「宇宙開発計画」の内、平成10年度と同計画からの主な変更点を別紙に示す。

### 3. スケジュール

- |          |  |
|----------|--|
| 3月10日（水） | ・「宇宙開発計画」を宇宙開発委員会が決定し（プレスに発表）、<br>内閣総理大臣へ意見具申                              |
|          | ・内閣総理大臣は、「宇宙開発計画」を受けて宇宙開発委員会に対し同計画を宇宙開発事業団法第24条に基づき、「宇宙開発に関する基本計画」として議決の要請 |
|          | ・宇宙開発委員会が議決  |
| 3月末      | ・「宇宙開発に関する基本計画」を内閣総理大臣が決定<br>（その後直ちに官報に告示）                                 |

（参考）

宇宙開発事業団法〔昭和44年6月23日 法律第50号〕（抜粋）

（業務運営の基準）

第24条 事業団の業務は、宇宙開発委員会の議決を経て内閣総理大臣が定める宇宙開発に関する基本計画に基づいて行わなければならない。

平成11年度宇宙開発計画の主要点  
(平成10年度計画からの変更点)

フェーズ	プロジェクト名	打上げ年度	打上げ ロケット	本文頁
開発へ移行	月周回衛星 (SELENE) (科技厅、文部省)	平成15年度	H-II A	7
開発研究へ 移行	第22号科学衛星 (SOLAR -B) (文部省)	平成16年度	M-V	5
打上げ年度 の変更	環境観測技術衛星 (ADEOS -II) (科技厅)	平成11年度 ⇒平成12年度	H-II A	2
	第17号科学衛星 (LUNAR -A) (文部省)	平成10年度 ⇒平成11年度	M-V	4
	第21号科学衛星 (ASTRO -F) (文部省)	平成14年度 ⇒平成15年度	M-V	5
	次世代型無人宇宙実験システム (USERS) (通産省)	平成12年度 ⇒平成13年度	H-II A	9
	ライダ実証衛星 (MDS-2) (科技厅)	平成12年度 ⇒平成13年度	未定	11
	宇宙往還技術試験機 (HOPE -X) (科技厅)	平成12年度 ⇒平成15年度	H-II A	14
	国際宇宙ステーションの日本実 験棟 (JEM) (科技厅)	平成13年度 ⇒平成13、 14年度	スペース シャトル	15
	宇宙ステーション補給システム 技術実証機 (科技厅)	平成13年度 ⇒平成14年度	H-II A	16

(参考)

宇宙開発計画上の区分：研究（概念設計）、開発研究（システム確定、予備設計）、  
開発（詳細設計、製作、試験、打上げ）

## 運用・研究の変更等

### ■地球観測・地球科学の分野

- ・地球資源衛星1号(JERS-1)の運用終了
- ・大気観測センサ(ILAS-II)の後継センサの開発研究着手
- ・中・小型衛星システムによる地球観測ミッションの実現に向けた研究
- ・情報収集衛星に関する研究

### ■宇宙科学の分野の分野

- ・試験惑星探査機(MS-T5)の運用終了
- ・第18号科学衛星(PLANET-B)の運用開始

### ■通信・放送・測位等の分野

- ・放送衛星3号の運用終了
- ・超高速通信・データ中継実験システムの研究
- ・準天頂衛星通信システムの研究

### ■宇宙環境利用の分野

- ・宇宙実験用小型ロケット(TR-1A)の開発の終了
- ・宇宙環境利用に関する応用化研究の実施

### ■有人宇宙活動の分野

- ・宇宙放射線防護に関わる宇宙医学研究

### ■人工衛星の基盤技術の分野

- ・技術試験衛星Ⅷ型(ETS-VIII)の開発における大型展開アンテナ小型・部分モデルの事前実証の実施
- ・新世代小型高機能衛星システムの研究
- ・宇宙機設計解析支援システムの研究
- ・宇宙産業技術情報基盤の整備に関する研究

### ■宇宙インフラストラクチャーの分野

#### [輸送系]

- ・ADEOS-II 打上げスケジュール変更に伴うH-IIロケット7号機とH-II Aロケット2号機の入れ換え
- ・小型衛星及び鯨生態観測衛星の環境観測技術衛星相乗りによる打上げ
- ・宇宙往還技術試験機(HOPE-X)のための高速飛行実証機飛行実験の実施

#### [拠点系]

- ・遠隔検査技術の事前実証の実施

#### [支援系]

- ・宇宙天気予報のための宇宙環境監視衛星の研究

### ■打上げ

- ・運輸多目的衛星2号機の調達着手

### ■施設の整備

- ・月ミッション運用・解析センターの整備
- ・地球観測情報処理システムの再構築

### ■その他の施策

- ・国際宇宙ステーションに係る広報・普及啓発活動の推進
- ・宇宙放射線防護に関わる宇宙医学のための国際協力
- ・国際宇宙ステーション計画に関する評価

# 人工衛星打上げの実績及び計画

▲ 打上げ済のもの

打上げ機\年度	昭和44	昭和45	昭和46	昭和47	昭和48	昭和49	昭和50	昭和51	昭和52	昭和53	昭和54	昭和55	昭和56	昭和57	昭和58
M-ロケット	▲「おおすみ」 (Lロケット)	▲試験衛星 (MS-T1) 「たんせい」	▲「しんせい」 (MS-F2) 第1号科学衛星	▲「でんぱ」 (REXS) 第2号科学衛星	▲試験衛星 (MS-T2) 「たんせい2号」	▲「たいよう」 (SRATS) 第3号科学衛星		▲試験衛星 (MS-T3) 「たんせい3号」		▲第5号科学衛星 (EXOS-A) 「きょっこう」	▲第4号科学衛星 (CORSA-b) 「はくちょう」 第6号科学衛星 (EXOS-B) 「じきけん」	▲試験衛星 (MS-T4) 「たんせい4号」	▲第7号科学衛星 (ASTRO-A) 「ひのとり」		▲第8号科学衛星 (ASTRO-B) 「てんま」
N-Iロケット 静止軌道に 静約130kg							▲「きく」 技術試験衛星I型 (ETS-I)	▲技術試験衛星II型 (ETS-II) 「きく2号」	▲電離層観測衛星 (ISS-b) 「うめ2号」		▲実験用静止通信衛星 (ECS-b) 「あやめ2号」			▲技術試験衛星III型 (ETS-III) 「きく4号」	
N-IIロケット 静止軌道に 静約350kg													▲技術試験衛星IV型 (ETS-IV) 「きく3号」	▲通信衛星2号-a (CS-2a) 「さくら2号-a」 ▲「ひまわり2号」 (GMS-2) 静止気象衛星2号	▲通信衛星2号-b (CS-2b) 「さくら2号-b」
H-Iロケット 静止軌道に 静約550kg															
その他 一ル捨ッ ペトイケ スヤ使ロ 国シは型 米ス又てト									▲実験用中型放送衛星 (BS) 「ゆり」 ▲通信衛星(CS) 「さくら」 ▲静止気象衛星 (GMS) 「ひまわり」	▲実験用中型放送衛星 (BS) 「ゆり」 ▲通信衛星(CS) 「さくら」 ▲静止気象衛星 (GMS) 「ひまわり」					▲粒子加速装置を用い た宇宙科学実験 (SEPAC)

打上げ機\年度	昭 5 9	昭 6 0	昭 6 1	昭 6 2	昭 6 3	平成 元	平 2	平 3	平 4	平 5	平成 6
M-3 S II ロケット [低軌道に 約770kg]	▲試験惑星探査機 (M・S・T5) 「さきがけ」	▲第10号科学衛星 (PLANET・A) 「すいせい」	▲第11号科学衛星 (ASTRO・C) 「ぎんが」		▲第12号科学衛星 (EXOS・D) 「あけぼの」	▲第13号科学衛星 (MUSE・A) 「ひてん」		▲第14号科学衛星 (SOLAR・A) 「ようこう」	▲第15号科学衛星 (ASTRO・D) 「あすか」		▲軌道上からの 無人回収システム (EXPRESS)
N-II ロケット [静止軌道に 約350kg]	▲静止気象衛星3号 (GMS・3) 「ひまわり3号」	▲放送衛星2号・b (BS・2b) 「ゆり2号・b」	▲海洋観測衛星1号 (MOS・1) 「もも1号」								
H-I ロケット [静止軌道に 約550kg]			▲[注1] H-Iロケット (2段階式) 試験機	▲通信衛星3号・a (CS・3a) 「さくら3号・a」 ▲技術試験衛星V型 (ETS・V) 「きく5号」	▲通信衛星3号・b (CS・3b) 「さくら3号・b」	▲[注2] 海洋観測衛星 1号・b (MOS・1b) 「もも1号・b」 ▲静止気象衛星4号 (GMS・4) 「ひまわり4号」	▲放送衛星3号・a (BS・3a) 「ゆり3号・a」	▲地球資源衛星1号 (JERS・1) 「ふよう1号」 ▲放送衛星3号・b (BS・3b) 「ゆり3号・b」			
H-II ロケット [静止軌道に 約2 t]										▲[注3] 軌道再突入実験機 (OREX) 「りゅうせい」 H-II性能確認用 ペイロード(VEP) 「みょうじょう」	▲[注3] 宇宙実験・観測フリ ーフライヤ(SFU) 静止気象衛星5号 (GMS・5) 「ひまわり5号」 ▲技術試験衛星VI型 (ETS・VI) 「きく6号」
そ の 他 [米国スペー スシャトル 又は使い捨て型ロケッ ト]			注1 測地試験衛星(EGS) あじさい アマチュア衛星(JAS-1) ふじ等を打上げ 注2 アマチュア衛星(JAS-1 b) ふじ2号等同時打上げ 注3 同時打上げ					▲第一次材料実験 (FMP・T) 「ふわつと92」 ▲磁気圏観測衛星 (GEOTAIL)		▲第2次国際微小重力 実験室(IML・2)	

打上げ機／年度	平成 7	平成 8	平成 9	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15
M-V ロケット [低軌道に 約 1・8 t]		▲第16号科学衛星 (MUSES-B) 「はるか」		▲第18号科学衛星 (PLANET-B) 「のぞみ」	△第19号科学衛星 (ASTRO-E) △第17号科学衛星 (LUNAR-A)		△第20号科学衛星 (MUSES-C)		△第21号科学衛星 (ASTRO-F)
H-II ロケット [静止軌道に 約 2 t]		▲地球観測プラットフォーム技術衛星 (ADEOS) 「みどり」	▲通信放送技術衛星 (COMETS) 「かけはし」 ▲熱帯降雨観測衛星 (TRMM) 技術試験衛星Ⅶ型 (ETS-VII) 「きく7号」		△運輸多目的衛星 (MTSAT)	「注5」 △データ中継技術衛星 (DRTS-W) 民生部品コンポーネント実証衛星 (MDS-1)			
H-II A ロケット [静止軌道に 約 2・3 t]					「注6」 △先端型データ中継技術衛星 (ARTEMIS)	「注7」 △環境観測技術衛星 (ADEOS-II)	△次世代無人宇宙実験システム (USERS)	△技術試験衛星Ⅷ型 (ETS-VIII) △陸域観測技術衛星 (ALOS) △データ中継技術衛星 (DRTS-E) △宇宙ステーション補給システム技術実証機	△宇宙往還技術試験機 (HOPE-X) △月周回衛星 (SELENE)
J-I ロケット [低軌道に 約 1 t]	▲J-I性能確認 極超音速飛行実験 (HYFLEX)	<div>           注4 アマチュア衛星 (JAS-2) ふじ3号同時打上げ            注5 同時打上げ            注6 欧州宇宙機関ESAの静止衛星 (高速再突入技術実証機 (DASH) 同時打上げ)            注7 小型衛星及び鯨生態観測衛星 (WEOS) 同時打上げ            注8 打上げロケット未定         </div>				△光衛星間通信実験衛星 (OICETS)			
そ の 他 [「米スヌート」 「ペトリケ スヤ使ロ 国シは型 米スヌート」]	▲宇宙実験・観測フリーフライヤ (SFU) の回収	▲高エネルギー・トランジェント宇宙放射線観測衛星 (HETE) 「X線観測装置」		△極軌道プラットフォーム1号 (EOS-AM1) 資源探査用将来型センサー (ASTER)	△高エネルギー・トランジェント宇宙放射線観測衛星 (HETE) 「X線観測装置」	△極軌道プラットフォーム (EOS-PM1) 改良型高性能マイクロ波放射計 (AMSR-E)	△生命科学実験施設 (生命科学グループボックス) 「注8」 △ライダ実証衛星 (MDS-2)	△宇宙ステーションの日本の実験棟 (JEM)	△生命科学実験施設 (人工重力発生装置、搭載棟)